

2011年度

科目名	社会福祉援助技術論Ⅲ		
担当教員	船本 淑恵		
配当	教福3	コード	14054
開期	通年	講時	月曜日4限
		単位数	4
授業テーマ	相談援助を展開するにあたっての基礎的知識・技術の理解を深め、相談援助専門職像を形成する。		
目的と概要	相談援助専門職を取り巻く社会状況と現状を学びながら、相談援助専門職の実際と職務内容、相談援助を展開するための基礎的知識・技術を理解する。(1)専門職の現状、(2)専門職の実際と倫理、(3)地域を基盤とした総合的かつ包括的な相談援助、(4)契約・記録・交渉の技術、(5)コーディネーションとネットワーク、(6)社会資源の活用について、実践や事例などから体系的に学習する。		
成績評価法	期末試験:75% 平常点・授業時レポート25% 総合的に評価する。		
テキスト	『新・社会福祉士養成講座6 相談援助の基盤と専門職 第2版』『新・社会福祉士養成講座7 相談援助の理論と方法Ⅰ 第2版』『新・社会福祉士養成講座8 相談援助の理論と方法Ⅱ 第2版』社会福祉士養成講座編集委員会編、中央法規出版。		
参考書	随時紹介する。		
履修に当たっての注意・助言/準備学習	現代の社会状況を素材にしながらか講義を進めていくので、新聞などに目を通し理解しておくこと。		
講義計画			
1. 前期オリエンテーション 2. 社会福祉士の役割と意義 3. 相談援助専門職の概念と範囲 1 4. 相談援助専門職の概念と範囲 2 5. 相談援助専門職の概念と範囲 3 6. 相談援助専門職の実際 1 7. 相談援助専門職の実際 2 8. 相談援助専門職の実際 3 9. 専門職倫理と倫理的ジレンマ 1 10. 専門職倫理と倫理的ジレンマ 2 11. 総合的かつ包括的な相談援助の全体像 1 12. 総合的かつ包括的な相談援助の全体像 2 13. 総合的かつ包括的な相談援助の全体像 3 14. 総合的かつ包括的な相談援助の全体像 4 15. 前期まとめ  16. 後期オリエンテーション 17. 相談援助における個人情報の保護 18. 相談援助のための契約技術 19. 相談援助のための記録の技術 1 20. 相談援助のための記録の技術 2 21. 相談援助のための記録の技術 3 22. 相談援助のための記録の技術 4 23. 相談援助のための交渉の技術 1 24. 相談援助のための交渉の技術 2 25. コーディネーション 26. ネットワーキング 1 27. ネットワーキング 2 28. 相談援助における社会資源の活用・調整・開発 29. 相談援助における社会資源の活用・調整・開発 30. 後期まとめ			